# 大阪物語（1957）

**メディア** 映画
**ジャンル** 時代劇　ドラマ　コメディ
**製作国**　日本
**色彩**　B&W
**時間**　96分
**初公開日** 1957/03/06

**【解説】**
　井原西鶴の『日本永代蔵』『世間胸算用』『万の文反古』をもとに、溝口健二が原作を書き依田義賢が脚色した。当初は溝口が監督を担当する予定だったが急逝したため、吉村公三郎がメガホンを取った。
　貧乏百姓の仁兵衛は年貢を払うことができず、妻と子供を引き連れて大阪へ夜逃げした。荷揚げされる米俵からのこぼれ米を拾い、それを売ることで生活する術を発見。十年もそれを続けることで、堺筋に両替屋を出すまでになった。店が大きくなっても仁兵衛のケチは相変わらず。妻が病の床に伏せても、金がもったいないと薬を与えず死なせてしまう始末。油問屋の女主人と意気投合した仁兵衛は、油問屋の息子と自分の娘との縁談を決めてしまう。娘おなつは反発し、かねてから思いを寄せていた番頭の忠三郎に駆け落ちしてほしいと願い出る。

**【クレジット】**
**監督**　吉村公三郎
**製作**　永田雅一
**企画**　辻久一
**原作**　溝口健二
**脚本**　依田義賢
**撮影**　杉山公平
**美術**　水谷浩
**音楽**　伊福部昭
**出演**　市川雷蔵
　　香川京子
　　勝新太郎
　　小野道子
　　林成年
　　浪花千栄子
　　中村鴈治郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.